

10.長寿・介護に関する施策

■施策評価シート

10-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	いきいきとした高齢社会の実現		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-01-①	施策名	高齢者の生きがいがづくり・社会参加の促進	

施策の概要

生きがいがづくりや健康の保持増進のため、就労やボランティア活動等への社会参加による交流の促進、活躍の場づくりの充実等に努めます。

成果指標(単位)	シルバー人材センター会員数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		721	731	741	751
実績値	711	722			

成果指標実績に対するコメント

健康講座や人権研修等と仕事説明会を同時開催し、草津市シルバー人材センターの普及啓発を図るとともに、サークル活動もPRすることで、草津市シルバー人材センターの魅力を発信することができ、会員数の増加(前年度比1.5%増)に繋げることができた。

施策の達成度評価

長寿の郷ロクハ荘やなごみの郷といった多世代交流機能・健康増進機能・介護予防機能を兼ね備えた施設を運営し、スポーツや文化的事業など、様々な方が参加・活躍できるような事業を計画・実施するとともに、シルバー人材センターや老人クラブの取組を支援することにより、高齢者の社会参加や生きがいがづくりや健康の保持増進を図ることができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.43私は、身体的に健康な状態である」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。就労やボランティア活動等を通じた社会参加の促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

高齢者の生きがいがづくりや健康の保持増進を推進するために、引き続き、積極的な社会参加による交流の促進を目的とした施設運営や関係機関への支援に努める。

就労やボランティア活動等を通じた社会参加等の取組は、生きがいがづくりや健康の保持増進だけでなく、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」といった指標ににおいて、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えことから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
シルバー人材センター運営・活動事業	商工観光労政課	○	一般市民や企業への多様な周知活動を実施したこと等により、全国的に会員数の減少傾向が続く中で、草津市シルバー人材センターの入会登録者数は、会員は722人(前年度比1.5%増)と増加することができたため。
ロクハ荘管理運営事業	長寿いきがい課	○	指定管理者と協議のうえ、eスポーツなど新たな取組により、フレイル予防や高齢者の生きがいがづくり、仲間づくりの展開を図り、さらに、多世代交流を目的としたイベントを積極的に企画し、多彩な事業の実施や他団体との連携事業の実施を通し、利用者の満足度の向上に努めたため。
なごみの郷管理運営事業	長寿いきがい課	○	

■施策評価シート 10-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ねんりんピック出場選手激励金支給事業	長寿いきがい課
老人福祉法施行事務	長寿いきがい課
老人クラブ活動補助事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2							
		偏差値	55.2		57.9							
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5		3.5							
		偏差値	79.3		80.0							
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6		3.7							
		偏差値	79.7		80.0							
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8							
		偏差値	55.6		56.1							
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	54.9		56.5							
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】											備考	
客観指標No. (令和7年度)			101	102	118							

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	いきいきとした高齢社会の実現		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-01-②	施策名	高齢者の健康づくり・介護予防の推進	

施策の概要

要支援・要介護状態になることを予防し、日常生活の活動を高めることで、生きがいのある生活を送ることができるよう、介護予防の知識普及や地域での介護予防事業の展開等に努めます。

成果指標(単位)	地域サロン年間延べ参加者数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		67,000	70,000	73,000	76,000
実績値	64,000	69,464			

成果指標実績に対するコメント

地域サロンについて、草津市社会福祉協議会が主体となって、企画運営相談や立ち上げ相談の対応を行うことで、地域サロンの活動が促進され、令和7年度の地域サロン年間延べ参加者数が目標値を上回った。

施策の達成度評価

高齢者が主体的に介護予防に取り組むためのきっかけづくりを目的として、市立プールを活用した介護予防事業やまちづくりセンター等におけるスポーツ介護予防事業を実施し、また、地域における自主的な介護予防の取組を継続して支援したことで、介護予防につなげることができた。地域サロンにおいては、草津市社会福祉協議会と連携して活性化を図り、地域での介護予防事業の展開に努めることができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」があり、いずれも偏差値が約80という結果であった。高齢者の生きがいつくりや地域での自主的な介護予防活動の推進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、地域で住民が自主的に介護予防に取り組むことができるよう、多彩な介護予防事業を展開するとともに、草津市社会福祉協議会と連携して地域サロンの活動を支援することにより、地域での支え合いや介護予防の普及に努めます。

高齢者が地域で主体的に介護予防に取り組むことは、要支援・要介護になることを予防するだけでなく、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」といった指標において高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策評価シート

10-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
介護予防普及啓発事業	長寿いきがい課	○	高齢者をささえるしくみの発行や高齢者を対象としたプール介護予防教室、eスポーツ体験教室・地域出前講座・eスポーツルームの開設といった事業の拡大を行ったことで、地域において新たに介護予防活動を始めるきっかけづくりを進めることができたため。
地域介護予防活動支援事業	長寿いきがい課	○	いきいき百歳体操や草津歯・口からこんにちば体操において、専門の指導員を地域に派遣することで、介護予防活動を始めるきっかけや既に活動している地域団体の活動継続を図ることができたため。
高齢者フレイル予防事業	長寿いきがい課	○	専門職を派遣する出前講座を通して自らフレイル予防に取り組むきっかけづくりを行い、出前講座の周知方法を見直すことにより、申込数が増加した。このことにより、高齢者がフレイル予防に関する正しい知識を得て、自らフレイル予防に取り組むきっかけとなる機会を増やすことができたため。
地域サロン推進事業	長寿いきがい課	○	地域サロン活動の促進に向けた訪問活動により、活動している地域サロン数が前年度と比べ増加した。また、地域サロン交流会の実施等を通じて、一定の活性化を図ることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
一般介護予防事業評価事業	長寿いきがい課
介護予防ケアマネジメント事業	長寿いきがい課
介護予防通所介護相当サービス事業	長寿いきがい課
介護予防訪問介護相当サービス事業	長寿いきがい課
活動型デイサービス事業	長寿いきがい課
高額医療合算介護予防サービス費相当事業	長寿いきがい課
高額介護予防サービス費相当事業	長寿いきがい課
高齢者配食サービス事業	長寿いきがい課
住民主体支援事業	長寿いきがい課
審査支払事務	長寿いきがい課
生活支援型訪問サービス事業	長寿いきがい課
短期集中予防サービス事業(通所型)	長寿いきがい課
短期集中予防サービス事業(訪問型)	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
43 私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
	偏差値	79.3	80.0			
44 私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
	偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	101	102						

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-02-①	施策名	地域包括ケアシステムの深化・推進	

施策の概要

助け合い・支え合う地域づくりを推進するとともに、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療と介護が連携して、在宅生活を支援するサービスを一体的に提供できる体制を整えます。

成果指標(単位)	地域包括支援センターへの相談件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	24,200	25,200	26,200	27,200
実績値	23,300	23,078			

成果指標実績に対するコメント

地域住民の心身の健康の保持と生活安定のために、地域包括支援センターにおいて総合相談支援などの必要な支援を行っている。草津市地域包括支援センター相談実績より、令和7年度の相談件数は目標値を約1,000件下回る結果となった。相談内容の内訳については、介護や介護予防に関する相談は増加しているのに対し、権利擁護に関する相談が約1,000件減少しており、このことについては、成年後見センターもだまや法テラス(日本司法支援センター)における権利擁護支援を活用していることが要因として考えられる。

施策の達成度評価

高齢者が医療や介護等の支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民が地域の課題を共有し、「我が事」ととらえ、課題解決に向けて話し合うために、各小学校区において「学区の医療福祉を考える会議」や地域包括支援センターが地域ケア推進会議を主催し、住民同士が支え合う地域づくりの機運を高め、民生委員やケアマネジャーの連携強化を図った。また、草津市在宅医療介護連携センターを核として、多様な組織・機関と協働しながら相談対応等を通じて在宅医療と介護の連携を進めることにより、切れ目のないサービスの提供につなげることができた。こうした助け合い・支えあう地域づくりや、医療と介護が連携して在宅生活を支援する取組を継続して実施する必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」がある。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、今後もより安心できるまちとなるよう、地域住民や学区社協、地域包括支援センター、介護事業所、医療機関等が連携しながら地域づくりや、高齢者への支援体制を整える取組を継続していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

地域の医療福祉の関係機関や地域関係者、各種団体とのネットワークづくりを推進し、多職種が相互に役割を発揮し、切れ目のない医療・介護のサービスを提供することで、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制づくり(地域包括ケアシステム)の深化・推進を図る。

高齢者総合相談・支援事業や在宅医療・介護連携推進事業を進めることで、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」という点において、Well-Beingの向上につながると考えている。また、生活支援体制整備事業や地域ケア会議推進事業を進めることで、「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」の観点につながるため、上記施策を継続しながら、助け合い・支えあう地域づくりを推進していく。

■施策評価シート

10-02-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
生活支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	○	各小学校区に生活支援コーディネーターを配置し、学区の医療福祉を考える会議を通じて、地域の医療・介護関係者等が地域の課題を共有し、課題解決に向けた支え合いの取組を検討・実施することができたため。
生活支援体制整備事業	長寿いきがい課	○	生活支援サポーター養成講座を開催し、地域で役割を持つ元気な高齢者を増やすとともに、社会参加のきっかけづくり、地域でお互いに支え合える仕組みづくりの推進を図ることができたため。
在宅医療・介護連携推進事業	長寿いきがい課	○	訪問診療医のネットワーク構築を目的とした在宅医療ネット会議について、今後需要が高まる在宅医療に関する基盤づくりの検討を行った。また、多職種連携交流会・研修会、多職種連携推進会議等を開催し、情報共有や多職種間の相互理解を深める機会を設けた。これらの取組により、医療と介護の連携体制の推進を図り、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築に努めたため。
高齢者総合相談・支援事業	長寿いきがい課	○	高齢者の身近な相談窓口である地域包括支援センターにおいて、地域住民や関係機関から延べ23,078件の相談を受けることで、早期に支援が必要な高齢者を把握し、適切な支援につなぐことができたため。
地域ケア会議推進事業	長寿いきがい課	○	自立支援地域ケアカンファレンスを開催し、多職種の専門職による多角的な助言を行うことで個別課題の抽出や適切なサービス提供の手法を習得することにより、高齢者の自立支援、重症化予防に資するケアマネジメントの充実を図った。 また、地域ケア個別会議を実施し、高齢者が抱える課題を地域の関係者や専門職と共有し、解決方法の検討を行った。個別会議で把握した個別課題を整理し、地域課題を抽出、地域ケア推進会議で地域課題の共有や解決方法の検討を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
すっきりさわやかサービス事業	介護保険課
自動車改造支援事業	長寿いきがい課
緊急通報システム設置支援事業	長寿いきがい課
シルバーほっとカード発行事業	長寿いきがい課
地域自立生活支援事業	長寿いきがい課
ふとんクリーンサービス事業	長寿いきがい課
家族介護教室事業	長寿いきがい課
外出支援サービス事業	長寿いきがい課
高齢者成年後見制度利用支援事業(一般会計)	長寿いきがい課
生活管理指導短期宿泊事業	長寿いきがい課
長寿祝金等支給事業	長寿いきがい課
日常生活用具給付事業	長寿いきがい課
福祉理髪サービス事業	長寿いきがい課
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	長寿いきがい課
老人小規模住宅改造費補助事業	長寿いきがい課
老人福祉施設入所措置事業	長寿いきがい課
老人福祉施設入所判定事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9		2.9							
		偏差値	60.7		61.3							
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4		3.5							
		偏差値	78.3		80.0							
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5		3.5							
		偏差値	79.3		80.0							
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6		3.7							
		偏差値	79.7		80.0							
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】											備考	
客観指標No. (令和7年度)			101	102								

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-02-②	施策名	認知症施策の推進	

施策の概要

認知症の人もその家族も安心して生活できるまちの実現に向けて、認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を推進し、認知症を「我が事」と捉え、声かけ・見守りなど地域での関係づくりを進めることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進します。

成果指標(単位)	認知症サポーター養成講座受講者数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		1,000	1,100	1,200	1,300
実績値	860	1,026			

成果指標実績に対するコメント

認知症について正しい理解の普及等を目的として認知症サポーター養成講座を実施した結果、受講者数は目標値を上回った。認知症を自分事と捉えて受講している方が多く、認知症の人およびその家族が安心して生活できるまちの実現に向けて、認知症施策を継続して実施していることに対する市民の評価が表れたものとする。

施策の達成度評価

認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等を推進した結果、認知症の人も地域で暮らす一員としての見守りや交流の広がりをつくることができた。また、地域や医療・介護関係者と連携し、早期発見・支援体制の構築を推進することができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.6私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」であり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。本市は、全国に先駆けて「草津市認知症があっても安心なまちづくり条例」を制定し、認知症の人やその家族の視点を尊重して認知症施策を推進しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、本人ミーティング等で認知症の人や家族と対話しながら、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

草津市認知症があっても安心なまちづくり条例に規定する基本理念の実現に向けて、認知症の人とその家族の視点を尊重し、認知症に関する正しい知識と理解の普及・啓発、声かけ・見守りなどの地域での関係づくりを進めることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する。

認知症施策は誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながるだけでなく、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、指標の偏差値が高水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、認知症サポーター養成講座をはじめ、各種認知症施策を実施していく。

■施策評価シート

10-02-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
認知症総合支援事業	長寿いきがい課	○	各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行った。 また、認知症初期集中支援事業について、9名の対象者に対して、チーム員会議を10回開催、訪問支援を31回行い、関係機関と連携を図ることで、対象者の半数以上が早期に必要な医療や介護サービスにつながったため。
認知症施策推進事業	長寿いきがい課	○	草津市認知症施策アクション・プランに基づき、認知症サポーター養成講座や地域安心声かけ訓練の開催、見守りネットワーク事業の周知を実施したことにより、認知症の人およびその家族のネットワークの強化につながった。また、認知症本人ミーティングを3回開催し、認知症の人が気軽に語り合える機会の創出と、認知症の人同士の交流につながった。
権利擁護事業	長寿いきがい課	○	高齢者虐待通報が56件であり、虐待を早期に発見できるよう、関係機関へ周知・啓発を行うとともに、処遇検討会議や支援ネット会議を計12回開催し、高齢者の尊厳ある生活を確保するための支援について検討した。
高齢者成年後見制度利用支援事業(特別会計)	長寿いきがい課	○	申立費用および後見報酬にかかる補助金の交付を行うとともに、被後見人の状況を把握し、裁判所への申立者がいないケースは市長申立を行うなど、高齢者の成年後見制度の利用を促進した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
認知症高齢者等探索システム利用支援事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
	偏差値	58.0	63.0			
43 私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
	偏差値	79.3	80.0			
44 私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
	偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	8	101	102					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-02-③	施策名	介護サービスの充実	

施策の概要
要支援・要介護の状態にあっても、誰もがその人らしく豊かな高齢期を過ごすことができるよう、介護サービスの適正水準の維持・向上を図ります。また、介護人材の定着や確保に向けた取組を進めます。

成果指標(単位)	介護保険サービスの標準給付費(千円)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	9,704,453	10,065,814	10,463,333	10,876,551
実績値	9,315,554	9,581,947			

成果指標実績に対するコメント
令和6年度の標準給付費(実績値)9,211,583千円と比較すると、令和7年度は9,581,947千円で約104%の実績となっており、令和7年度計画値である9,704,453千円に対しては約98.7%の実績であり、おおむね目標としていた値となっている。 これは、介護給付適正化事業(「要介護認定の適正化」「ケアプランの点検」「住宅改修等の点検」「縦覧点検・医療情報との突合」など)の取組の効果によって、介護給付を必要とする利用者を適切に認定し、利用者が真に必要なとするサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができたことが要因のひとつであると考えられる。

施策の達成度評価
令和6年3月に策定した「草津あんしんいきいきプラン第9期計画」(計画期間:令和6年度～令和8年度)における令和7年度の目標値に対して、おおむね計画どおりの実績となっている。 高齢化の進展に伴う要支援・要介護認定者数の増加等を要因として、今後も介護保険に係る給付費が右肩上がりになることが想定されることを踏まえて、引き続き適正な制度運用を行っていく必要がある。 また、将来にわたる介護保険制度の持続性を確保するためには、介護人材の定着や確保が重要である。 当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.43 私は、身体的に健康な状態である」、「No.44 私は、精神的に健康な状態である」、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度の観点からも、引き続き利用者が真に必要なとするサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができるよう、介護給付適正化事業および介護・福祉人材確保定着支援事業の取組を実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
適正な制度運用を行い、介護サービスの適正水準の維持・向上を図るため、引き続き、介護給付適正化の取組を継続する。 また、介護サービスの安定供給を図るため、介護人材の定着や確保に向けた取組についても、引き続き実施していく。
介護給付適正化事業および介護・福祉人材確保定着支援事業の取組は、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」、「No.44 私は、精神的に健康な状態である」、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかる地域幸福度向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度向上の観点からも継続して実施していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
居宅介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比106.1%となった。
地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比102.9%となった。
施設介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時における想定をやや下回ったものの、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比101.5%となった。
介護・福祉人材確保定着支援事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、関係機関との広域的な連携を行うことができたため。 また、若年層への介護職の魅力発信を目的とした介護助体験を企画・実施した。

■施策評価シート

10-02-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
施設整備費補助事務	介護保険課
地域密着型サービス等推進事業	介護保険課
老人福祉推進事務	長寿いきがい課
高額医療合算介護サービス事業	介護保険課
高額介護サービス事業	介護保険課
高額介護予防サービス事業	介護保険課
すっきりさわやかサービス事業	介護保険課
特定入所者介護サービス事業	介護保険課
特定入所者介護予防サービス事業	介護保険課
訪問介護利用者負担軽減事業	介護保険課
介護予防サービス給付事業	介護保険課
介護予防サービス計画給付事業	介護保険課
介護予防住宅改修事業	介護保険課
介護予防福祉用具購入事業	介護保険課
居宅介護サービス計画給付事業	介護保険課
居宅介護住宅改修事業	介護保険課
居宅介護福祉用具購入事業	介護保険課
社会福祉法人助成事業	介護保険課
地域密着型介護予防サービス給付事業	介護保険課
特例介護予防サービス給付事業	介護保険課
特例介護予防サービス計画給付事業	介護保険課
特例居宅介護サービス給付事業	介護保険課
特例居宅介護サービス計画給付事業	介護保険課
特例施設介護サービス給付事業	介護保険課
特例地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
	偏差値	58.0	63.0			
43 私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
	偏差値	79.3	80.0			
44 私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
	偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	5	101	102					

■施策評価シート 10-02-④

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-02-④	施策名	介護保険制度の適正運用	

施策の概要
介護保険制度等の理解促進と利用支援、要介護認定、ケアマネジメント、事業者のサービス提供体制および介護報酬請求においてチェック体制を整備し、適正化の取組を進めます。

成果指標(単位)	介護保険料収納率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	99.6	99.6	99.6	99.6
実績値	99.7	99.7			

成果指標実績に対するコメント
前年度に引き続き督促や催告等を含めた滞納対策に取り組んだ結果、介護保険料収納率の目標値である99.6%を達成することができた。

施策の達成度評価
・介護保険料収納率については、目標値を達成し、適切な徴収業務を実施できた。 ・要介護認定についても、審査請求による審査差戻し等は発生せず、適正な運用を行うことができた。 ・介護給付費の適正化の観点からは、ケアマネジャーに対するケアプラン点検の実施(60件)や住宅改修の事前確認、軽度者に対する福祉用具貸与のチェック等を通じて適正な介護サービスの利用促進を行うことができた。 ・市内の地域密着型サービス事業所に対する書面確認による実施を含む運営指導(29件)により、サービス提供体制や介護報酬請求に関して事業者への指導を行うことができた。 ・要支援・要介護認定者数の増加が見込まれる中、適正化の取組を継続することが課題である。 当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.43 私は、身体的に健康な状態である」、「No.44 私は、精神的に健康な状態である」、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度の観点からも、引き続き利用者が真に必要なサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができるよう、介護給付適正化事業の取組を実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
・介護保険料収納率については、本収納率が維持できるように滞納対策等の徴収業務に取り組む。 ・要介護認定については、認定件数が増加する傾向にあるが、適正な認定調査水準および審査水準を維持することで、不服申し立てによる審査差戻し等が発生しないよう、適正な認定審査に取り組む。 ・介護給付費の適正化については、引き続き、ケアプラン点検や住宅改修の事前承認、軽度者に対する福祉用具貸与のチェック等を実施するとともに、運営指導を行い、適切な介護サービスの利用を促進する。 介護給付適正化事業の取組は、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」、「No.44 私は、精神的に健康な状態である」、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかる地域幸福度向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度向上の観点からも継続して実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
介護保険制度啓発普及事業	介護保険課	○	介護保険制度に関するパンフレットを郵送・配布することで啓発に努めた。また、広報くさつへの掲載や出前講座を利用して介護保険制度の啓発を実施することで、制度の周知を図った。
介護認定事務	介護保険課	○	審査請求による審査差戻しが0人であり、年間を通じて適正な介護認定事務を行った。また、審査会システムのDX化により、審査会資料作成時間が短縮され、事務の効率化が図れた。
介護給付費等適正化事業	介護保険課	○	ケアマネジャーに対するケアプラン点検の実施により、介護給付費の適正化を推進した。また、市内地域密着型サービス事業所に対して運営指導および集団指導を行い、介護サービスの質の向上に寄与した。

■施策評価シート 10-02-④

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
介護保険事業計画推進事業	長寿いきがい課
介護保険事務処理システム運営事業	介護保険課
介護保険制度運営事務	介護保険課
介護保険料管理回収事務	介護保険課
介護保険料賦課徴収事務	介護保険課
国保連合会点検・審査手数料事務	介護保険課
国保連合会負担金事務	介護保険課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		101	102						